

入力誤りをなくそう！

— いつも心に余裕をもって —

稲葉名美¹⁾ 林 隆子¹⁾ 中村 泉¹⁾ 佐野久美¹⁾
 清水利枝¹⁾ 吉川さゆみ¹⁾ 直海幸恵¹⁾ 中村尚代¹⁾
 前田和美¹⁾ 大沢貴裕¹⁾ 泊 明子¹⁾ 土田千賀²⁾

要旨：現状として、レセプト点検作業時に入力訂正が行われている。訂正箇所を項目ごとに拾い上げた結果、「指導・管理料」「注射料」「検査料」「画像料」の4項目で76.27%を占めていることが判明した。4項目に重点をおき、『入力後チェックシート』『入力マニュアル』を作成し効果を確認した結果、入力誤りの減少がみられた。

【Key words】チェックシート，マニュアル

緒 言

日常の繁雑時における入力では、スピードに重点をおくため正確さの面が欠けていた。それは診療行為を確実に請求に変えていくということにも影響が出ていると考えられた。そこで、入力訂正が行われた箇所を拾い上げ原因を解析し、対策を実施した。

方 法

平成19年2月3月分の社保・国保に請求された外来レセプト20,866件のうち、各担当者による点検作業時に訂正が行われた箇所を拾い上げ、各項目ごとに集計して金額に換算した。入力誤りの金額は582,360円であった。そのうち、「指導・管理料」「注射料」「検査料」「画像料」の4項目で444,160円（76.27%）を占めていることが判明した（図1）。その結果をもとに要因を解析したところ、入力時におけるルールに対する知識不足・技術不足が大きな要因であると考えられた（表1）。そこで、既存の『入力後チェックシート』『入力マニュアル』を見直して改訂

し、医療事務課職員全員に配布した。また、毎月行われる勉強会において注意事項の伝達を行った。対策実施後の平成19年7月8月分のレセプト20,555件について、対策前と同じ方法で比較し、効果を確認した。

結 果

入力誤りの金額は、582,360円から398,060円となり減少率は31.65%にとどまった（図2）。但し、効果の高かった項目として、注射料は78,190円から13,490円で82.75%の減少、検査料は205,460円から100,010円で51.32%の減少であった。また、誤りの76.27%を占めていた上位4項目としてみると、444,160円から258,820円で41.73%の減少であった（図3）。

考 察

入力誤りの減少率は31.65%にとどまったが、『入力後チェックシート』『入力マニュアル』の改善が行われたことで、入力に対する注意事項の呼びかけができた。また、

¹⁾ 福井総合病院 医療事務課

²⁾ 福井総合病院 放射線科
 （受付日 2008年3月）

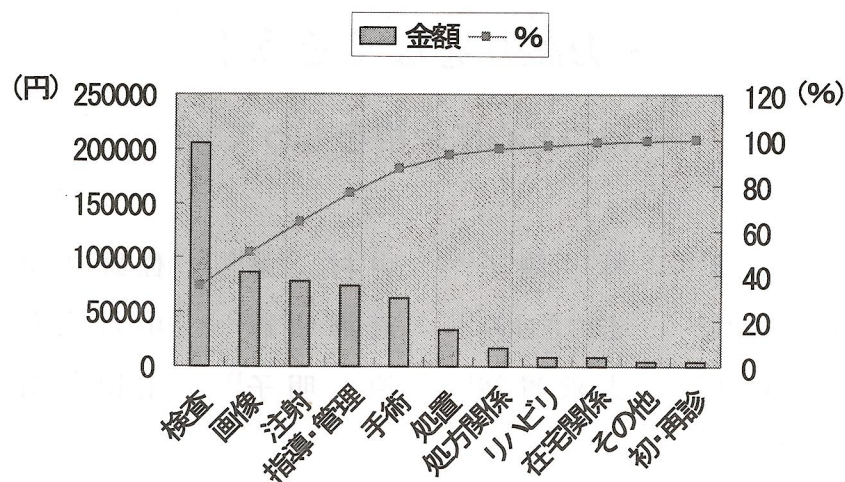


図1：調査結果（現状把握）

上位4項目〈指導・管理、注射、検査、画像〉で444,160円（76.27%）を占めている

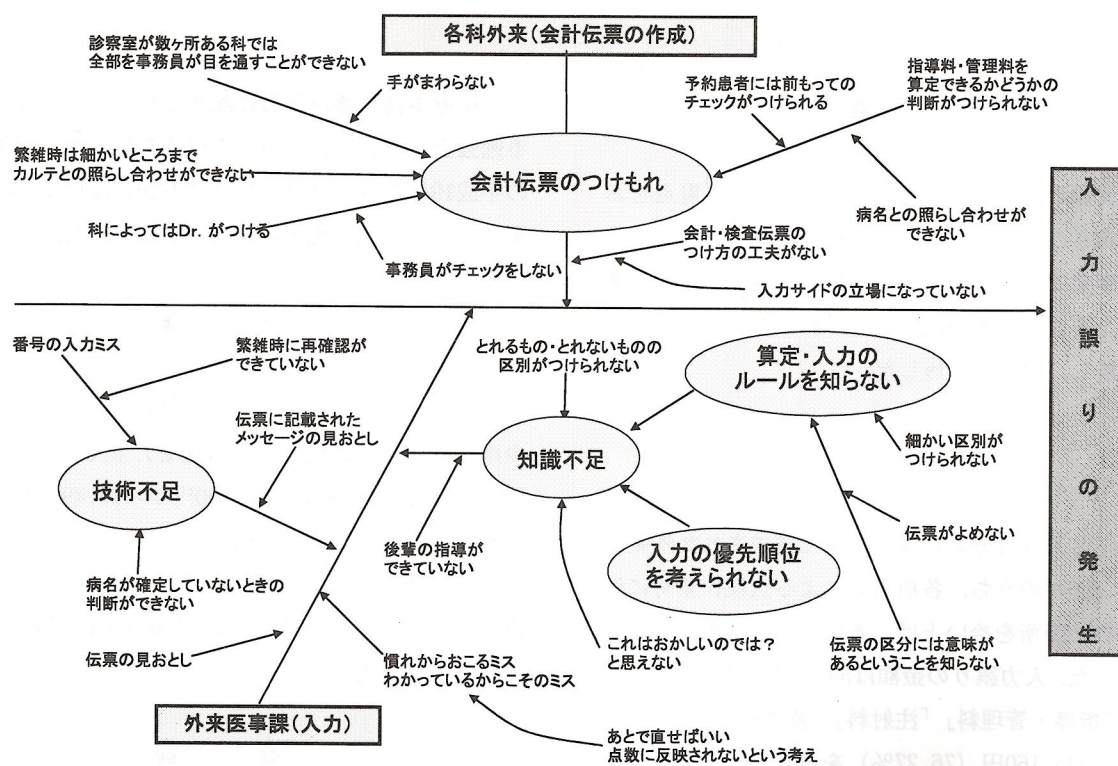


表1：要因解析

医療事務課全員に現状把握の調査結果を報告することによって、担当科以外の誤りを知らせることができた。そして日常の請求業務の流れの中に「コストに対する意識強化」を促すことができたと考えられる。今後は、各項目ごとに強化月間・週間などをもうけ、入力誤りのさら

なる減少をめざしていく。また、各自の仕事すべてがコストにつながるのだということを常に意識し、確実な請求を行えるよう継続した活動を行っていくことが必要であると考えられる。

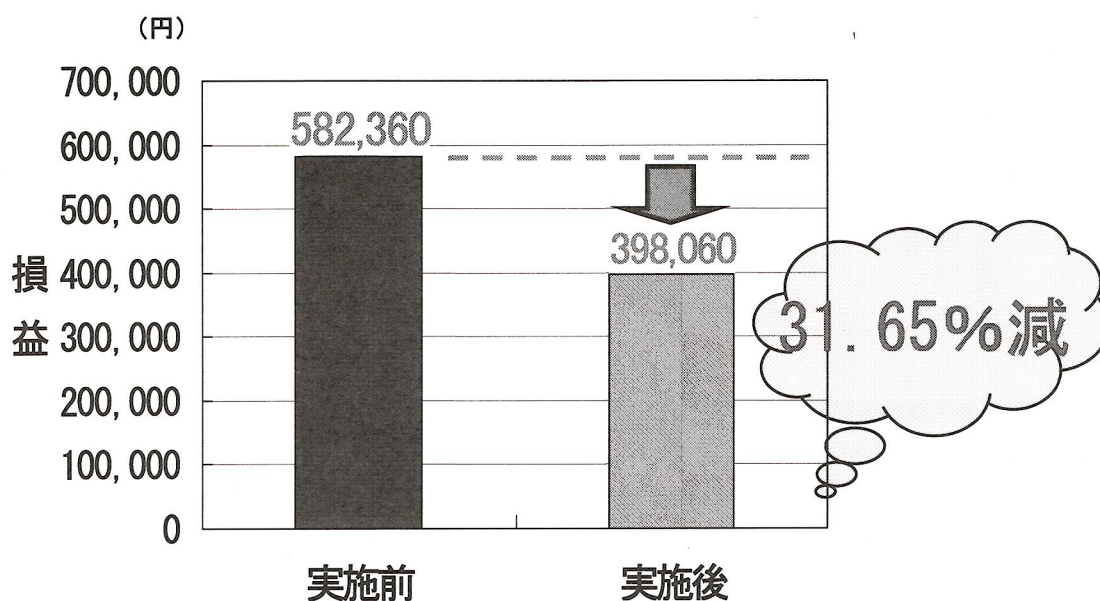


図2：効果の確認（全項目合計）
全項目では実施前と実施後で 31.65%（184,300 円）の減少であった

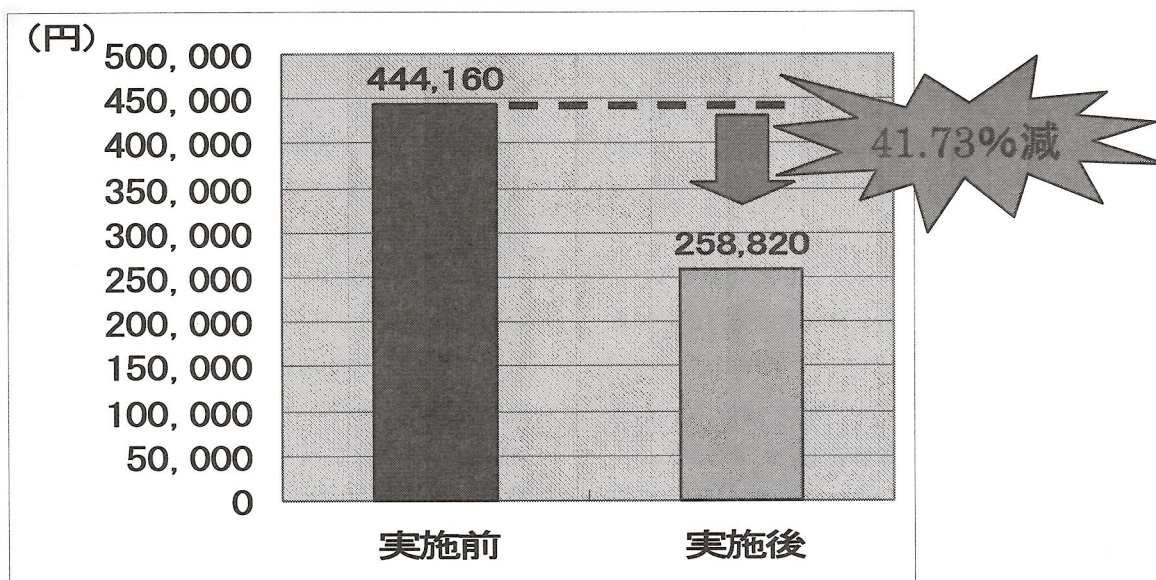


図3：効果の確認（上位4項目）
上位4項目〈指導・管理，注射，検査，画像〉では実施前と実施後で 41.73%（185,340 円）の減少であった

参考文献

- 1) 松田亀松：コマッタ君の問題解決とQC手法，日科技連，東京，1989，1-224
- 2) 杉本弘美：第7回フォーラム「医療の改善活動」，医療のTQM推進協議会，2005；89-92